

「肥後にわか」や舞踊など

盛況だったノ納税感謝の夕

県税務課では県税について平素ご協力を願っている県民の皆様方にお礼を兼ねましてノ納税感謝の夕(RKK公開録音)を、去る十一月十六日午後六時半から本渡市南小学校講堂で華やかに催しました。

浜崎天草事務所税務課長の挨拶に始つて、合奏とコーラス、今年はじめの試みである小中学生応募納税作文朗読、舞踊、俗曲と歌謡曲等地元の方々の熱演の後、お馴染み組の肥後にわかを最後として午後十時、約二五〇名の参集を得て盛況のうちに楽しい夕べの幕を閉じました。



特選 一席

税金を納めよう

佐伊津中学校 三年 川本 恵子

国や県で政治を行うのには、多額の費用がいります。たとえば道路や堤防をなおす費用私達の教育費用など色々な方面に費用がいります。その費用はどこから出るのでしょうか。それは私達県民の一人一人の税金からです。その税金を納めなければ結局私達が苦しむのです。これかたけた橋を、びくびくして渡らなければなりません。

税金にもたくさん種類があります。県民の誰でも其の人によつて、それぞれの税金を納めています。税金を納めるのは県民の義務です。この大切な税金を気持ち良く納めている人は、今の世に多いものでしょうか。私は少ないと思います。

ある時、隣組を母に変わつて、税金の紙を配つて廻つたことがあります。ある家に行くと近所の人四、五人寄つてにぎやかに話していられました。

「税金です」と言うと、急にこぼれた顔になつて、又かと言うように「よつ税金、税金と言つて、此の前納めたばかりなのに。今度は何の税金だろうか」と冷たく聞かれるので私は少しむつとしましたが「市民税です」と言つて、逃げ帰つたことがあります。当然納めなければならぬ税金をなぜ、いやな顔をするのでしょうか。

私は税金のことについては、学校で社会の時間に、地方税と国税の種類を知つ

ただでくわしいことは、分りませんがただ怠りなく納めなければならぬことは知つています。

私の家では、税金にはとても母が心掛けます。期日には紙の中に、お金をはさめて母が留守の時でも、すぐ私がそれをやる事が出来ます。

固定資産税は、資産のたくさんある家ほど多額のお金がいるようですが、私の家はほんの少ししかないので、固定資産税のくる時は淋しいような気がします。

又ある日、新聞を読んでいたら見出しに大きく「月賦購入者さんだご難。買った三輪車差押え。販売店が税金払わず」とのつています。何だろうかと内容を読むと「月賦で購入して使つてゐるオート三輪車が突然、差押処分を受け、車輪を引き上げるといふ通知を受けた人々がびつくりしてなんとかならないものかと訴えをした」と言うことです。

これなどは販売店が税金を払わないために起つたことです。なぜ大人の人は、こんなずるいことをするのでしょうか。これでは善意のある人々がとんだ被害を受けます。

私の親戚で、或る役所の税金の係をしている人がいます。その人の話では、期間内に税金を払わないので遂々差押えをしたそうですが「差押えて帰つた日は飯も食べたくない」と父母に話していた

のを私は聞きました。差押えられるのは決して良いことではありません。恥しいことです。差押えられる時のいやな気持ちを考え、二度とそのような事がないように、又差押えする人の心にもなつてお互いに期日まで納めるよう努力したらよいと思います。又人によつては、税金の集金に行く人に対して、何かと言いがかりをつけて、いくら係の人が説明しても、耳にも入らないで、係の人をうらんだりすることがあるそうです。うらんでいいものでしょうか。

税金の申告の時は、みんな怠らないようにし、もし申告よりも無理な高い税は係の人によく相談して調べて貰うようにするんだと母から聞きました。

県民の、いや日本国民の義務である税金を快く納められるよう心がけましよう。



県政だより

みんなできこつ

12月
8.45~9.00

広報くまもと

110号

昭和32,12,1発行

発行所 熊本県広報渉外課

熊本市行幸町一九

発行人 村上清蔵

印刷所 白石印刷出版KK

熊本市島崎町 電話②6812

昭和32年6月25日

第三種郵便物認可

定価 20円